

第2回労働安全衛生推進大会と 道路清掃ボランティアを実施

6月14日(木)人吉市カルチャーパレス大ホールにて、今回で2回目となる労働安全衛生推進大会を開催。会員企業、協力業者を合わせて約1000名が集った。



人吉支部では安全に関する意識の高揚と安全活動の定着を図ることを目的として午前9時30分から労働安全衛生推進大会を開催。また、午後からは支部管内各地域に分かれ道路清掃等のボランティア活動を実施した。

労働安全衛生大会冒頭、建設業関係物故者に対して黙祷を捧げた後、挨拶に立った大島支部長は「現在業界は急激な市場環境の変化による供給過剰構造を背景に企業間競争が更に激化し、厳しい経営環境が続いている。しかしながら、こういった厳しい経営環境の

中にあっても労働者の安全と健康の確保は、企業経営における最重要事項である。本大会を契機に労働災害は『あってはならないもの、起こしてはならないもの』との基本理念に基づいて、更に積極的な労働・交通災害防止活動の展開をお願いする。」と挨拶。

来賓挨拶として人吉労働基準監督署後藤署長、国土交通省川辺川ダム砂防工事事務所柿崎所長、熊本県球磨地域振興局江副局長からそれぞれ祝辞を頂いた後、安全講話として人吉労働基準監督署の葛原安全専門官、並びに、人吉警察署の中林交通課長が壇上に立ち、建設現場における安全対策徹底の重要性について訴えた。

最後に人吉支部青年部副会長の田中祐治氏が登壇し声高らかに安全宣言を読み上げ同大会は終了した。

労働安全衛生大会終了後、夏の行楽シーズンを前に気持ちよく球磨地域で過ごしていたただこうと小雨降る中、支部全体活動として各会員とも主要幹線道路や河川・公園を中心に清掃活動を行うなどのボランティア活動に汗を流した。



黙祷を捧げる参加者



ボランティア作業風景